

学 力 検 査 問 題

数 学

数学Ⅰ，数学Ⅱ，
数学A，数学B

平成 27 年 2 月 25 日

自 9 時 00 分

至 11 時 00 分

答案作成上の注意

- 1 この問題冊子には，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B（数列，ベクトル）の問題が5問あります。総ページは13ページで，問題は4ページ以降の偶数ページにあります。
- 2 解答用紙は5枚です。解答はすべて対応する番号の解答用紙の所定の解答欄（表面）に記入しなさい。解答用紙の注意書きもよく読みなさい。
- 3 受験番号は，それぞれの解答用紙の所定の欄（2ヶ所）に必ず記入しなさい。
- 4 試験終了後は，解答用紙の右上の番号の順に並べなさい。
- 5 配付した解答用紙は，持ち出してはいけません。
- 6 試験終了後，問題冊子は持ち帰ってください。

野地をのこる平如 空を白くするに思ふからん [1]

うーいそふふふふふふふふふふふふふふふふ

うーいそふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

うーいそふふふふふふふふふふふふふふふふ

うーいそふふふふふふふふふふふふふふふふ

うーいそふふふふふふふふふふふふふふふふ

[1] a, b, c を実数とし, $a < 1$ とする。座標平面上の 2 曲線

$$C_1: y = x^2 - x, \quad C_2: y = x^3 + bx^2 + cx - a$$

を考える。 C_1 と C_2 は, 点 $P(1, 0)$ と, それとは異なる点 Q を通る。また, 点 P における C_1 と C_2 の接線の傾きは等しいものとする。点 P における C_1 の接線を ℓ_1 , 点 Q における C_1 の接線を ℓ_2 , 点 Q における C_2 の接線を ℓ_3 とする。次の問いに答えよ。

- (1) b, c および点 Q の座標を a を用いて表せ。
- (2) ℓ_1, ℓ_2, ℓ_3 が三角形をつくらないような a の値を求めよ。
- (3) ℓ_1, ℓ_2, ℓ_3 が直角三角形をつくるような a の値の個数を求めよ。

空白

【8】

このとき、 α は、 $\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$ となる。このとき、 α は、 $\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$ となる。

$$\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$$

このとき、 α は、 $\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$ となる。

$$\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$$

このとき、 α は、 $\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$ となる。

このとき、 α は、 $\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$ となる。

このとき、 α は、 $\alpha = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\alpha} + \alpha \right)$ となる。

- [2] n を自然数とし, p_n, q_n を実数とする。ただし, p_1, q_1 は $p_1^2 - 4q_1 = 4$ を満たすとする。2 次方程式 $x^2 - p_n x + q_n = 0$ は異なる実数解 α_n, β_n をもつとする。ただし, $\alpha_n < \beta_n$ とする。 $c_n = \beta_n - \alpha_n$ とおくと, 数列 $\{c_n\}$ は

$$\frac{c_{n+1}}{c_n} = \frac{n+2}{\sqrt{n(n+1)}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たすとする。次の問いに答えよ。

- (1) $r_n = \log_2(n\sqrt{n} + \sqrt{n})$ とするとき, $\frac{n+2}{\sqrt{n(n+1)}}$ を r_n, r_{n+1} を用いて表せ。

- (2) c_n を n の式で表せ。

- (3) $p_n = n\sqrt{n}$ であるとき, q_n を n の式で表せ。

[3] 座標平面上に原点 O と 2 点 $A(1,0), B(0,1)$ をとり, $\vec{a} = \overrightarrow{OA}, \vec{b} = \overrightarrow{OB}$ とする。点 C は $|\overrightarrow{OC}| = 1, 0^\circ < \angle AOC < 90^\circ, 0^\circ < \angle BOC < 90^\circ$ を満たすとする。 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OC} = t$ とするとき, 次の問いに答えよ。

(1) $\overrightarrow{OC}$ を $\vec{a}, \vec{b}, t$ を用いて表せ。

(2) 線分 AB と 線分 OC の交点を D とする。 $\overrightarrow{OD}$ を $\vec{a}, \vec{b}, t$ を用いて表せ。

(3) 点 C から線分 OA に引いた垂線と線分 AB の交点を E とする。 D は (2) で定めた点とする。このとき, $\triangle OBD$ と $\triangle CDE$ の面積の和を t を用いて表せ。

空 白

（一）

（二）

（三）

（四）

（五）

[4] α, β は $\alpha > 0, \beta > 0, \alpha + \beta < 1$ を満たす実数とする。三つの放物線

$$C_1: y = x(1-x), \quad C_2: y = x(1-\beta-x), \quad C_3: y = (x-\alpha)(1-x)$$

を考える。 C_2 と C_3 の交点の x 座標を γ とする。また、 C_1, C_2, C_3 で囲まれた図形の面積を S とする。次の問いに答えよ。

(1) γ を α, β を用いて表せ。

(2) S を α, β を用いて表せ。

(3) α, β が $\alpha + \beta = \frac{1}{4}$ を満たしながら動くとき、 S の最大値を求めよ。

[5] n を自然数とする。A, B, C, D, E の 5 人が 1 個のボールをパスし続ける。最初に A がボールを持っていて、A は自分以外の誰かに同じ確率でボールをパスし、ボールを受けた人は、また自分以外の誰かに同じ確率でボールをパスし、以後同様にパスを続ける。 n 回パスしたとき、B がボールを持っている確率を p_n とする。ここで、たとえば、 $A \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow A \rightarrow E$ の順にボールをパスすれば、4 回パスしたと考える。次の問いに答えよ。

(1) p_1, p_2, p_3, p_4 を求めよ。

(2) p_n を求めよ。

空 白